

無機系コンクリート保護美装用塗料

エレホン #400スーパー

#400スーパーは、無機系特殊粉体とエマルジョンとの組み合わせにより、コンクリート構造物の保護と美装を兼ねた仕上げ用塗料です。

溶剤系塗料とは異なり、コンクリート本来の色と風合いを再現します。

また、防水性、付着性に優れ、コンクリートの中性化を抑止するとともに、風化も防ぎます。

特 長

- ▶ セメントを主体とした無機系の塗料であるため、コンクリートの色と風合いを再現します。
- ▶ 付着性、防水性に優れ、コンクリートを保護します。
- ▶ ハケ、ローラー、吹付けのいずれでも施工できます。
- ▶ 水系であるため取り扱いが容易で、施工用具も水で洗浄できます。

用 途

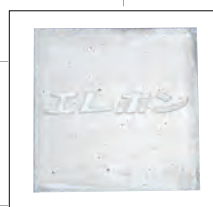
- ▶ コンクリート構造物の化粧と保護
- ▶ コンクリート面の色むら、落書き等の補修
- ▶ コンクリート二次製品の化粧仕上げ、補修
- ▶ ブロック塀やスレート板の改装

荷 姿



3kg粉体
1kg専用樹脂 } 4kgセット
※20kg/ケース
(5セット/ケース)

色

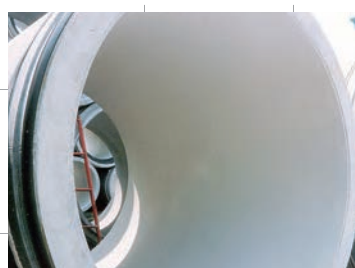


ライトグレー
(コンクリート乾燥面 近似色)
“エレホン”
を#400スーパーで着色

配合及び材料使用量

粉 体	3kg
専用樹脂	1kg
水	0.75～1.25kg
標準施工面積	美装用途 16㎡
	保護用途 10㎡
標準塗布量	美装用途 0.25kg/㎡(1回塗り) ※
	保護用途 0.40kg/㎡(2回塗り) ※

※標準塗布量には水は含まれていません。



施工要領

1. 下地処理

汚れ、付着物、ほこり等接着を阻害するものを除去し、清掃する。
亀裂、ジャンカ、漏水部等は予め処理する。

2. 吸水調整

ドライアウトや色むらの防止のため吸水調整を行う。
吸水調整はシーラー処理(#400スーパーにセットされた専用樹脂、または別商品のエレホンシーラーを、水で4～5倍に薄めたものを塗布)を行うか、下地に十分な水打ちを行う(シーラー処理推奨)。シーラー処理を行った場合は指触乾燥するまで養生する(目安は塗布後1時間程度以上)。

3. 混 練

規定の配合比を塊がなくなるまで均一に練り上げる。

4. 塗 布

混練した材料をハケ、ローラー、吹付けガン、スポンジ等を用いて塗布する。美装用途は1回塗り、保護用途は2回塗りにより規定量を塗布する。2回目の塗布は1回目指触乾燥した後に行う。(指触乾燥時間は夏期で20～30分、冬期で60～90分)

5. 養 生

塗布後24時間以上、雨水や流水等が当たらないように保護する。

微細(ヘアー)クラック処理方法

1. エポキシ注入のできないヘアークラックにアルカードエポ(浸透性下地強化材)を0.1~0.2kg/m²塗布・含浸させる。
 2. アルカードエポ硬化後(塗布後24時間以上経過後、指触で確認)、#400スーパーを塗布する。
- ※アルカードエポについては別途資料を参照して下さい。

性 能

● 接着試験(建研式)

材 齢	接着強度(N/mm ²)
3日	1.7
7日	2.1
28日	2.5

● 透水試験(JIS A 1404, 水圧0.3MPa×1時間)

試 料	透水量(g)	透水比(%)
基板(普通モルタル)	78.1	—
#400スーパー1回塗り	14.8	19.0
#400スーパー2回塗り	12.2	15.6

※#400スーパー試料は、普通モルタル(S/C=2.5)に規定量を塗布した。

注) 上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

● #400 スーパー仕上り色についての注意事項

- ・ 雨や水がよく流れた部分だけが白華し、白い雨だれ跡になることがあります(外壁等に多く発生します)。
- ・ 駐車場ではタイヤ痕が付着することがあります。また、通行状況により摩耗や剥がれが生じることがあります。
- ・ #400スーパーとコンクリートの吸水量は大きく異なるため、部分施工の場合は降雨時に色の違いが生じることがあります(よって全面施工を推奨します)。
- ・ 時間を置いて塗布する場合、重ね塗り部分で色の違いを生じることがあります。
- ・ #400スーパーの色を白くまたは黒くしたい場合はセメント用の着色顔料を使用して下さい(着色顔料は建材店等で入手できます)。着色する場合は色むらを避けるため各材料を正確に計量し、十分に混練して下さい。
- ・ 現場条件により仕上り色が合わない場合もあります。確認のため事前の試験施工をお奨めします。

● 使用上の注意

- ・ ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- ・ 取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク等の適切な保護具を着用して下さい。
- ・ 製品は直射日光、湿気を避け5~35℃で保管して下さい。
- ・ 目に入った場合は、清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水と石鹸で十分に洗い落として下さい。かゆみ・炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・ 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

● 本資料について

- ・ 本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。
- ・ しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・ 本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社

EREWHON

<https://erewhon.co.jp>

● 本 社 ・ 工 場	〒870-0141	大 分 県 大 分 市 三 川 新 町 1 - 2 - 2 3	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● い わ き 工 場	〒979-3112	福 島 県 い わ き 市 小 川 町 上 平 字 中 平 3 0 - 3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大 阪 支 店	〒532-0003	大 阪 府 大 阪 市 淀 川 区 宮 原 5 - 1 - 3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
● 福 岡 支 店	〒814-0151	福 岡 県 福 岡 市 城 南 区 堤 1 - 9 - 1 0	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関 東 支 店	〒224-0003	神 奈 川 県 横 濱 市 都 筑 区 中 川 中 央 2 - 5 - 1 3 - 3 F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
● 仙 台 支 店	〒984-0012	宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 六 丁 の 目 中 町 6 - 2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名 古 屋 支 店	〒463-0048	愛 知 県 名 古 屋 市 守 山 区 小 幡 南 3 - 5 - 2 1	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札 幌 営 業 所	〒007-0805	北 海 道 札 幌 市 東 区 東 苗 穂 5 条 3 - 2 - 3 2	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 新 潟 営 業 所	〒950-0963	新 潟 県 新 潟 市 中 央 区 南 出 来 島 1 - 1 0 - 2 3	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
● 静 岡 営 業 所	〒422-8058	静 岡 県 静 岡 市 駿 河 区 中 原 7 4 3 - 1 - 1 F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
● 北 陸 営 業 所	〒920-0027	石 川 県 金 沢 市 駅 西 新 町 2 - 1 1 - 2 5	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 広 島 営 業 所	〒739-1731	広 島 県 広 島 市 安 佐 北 区 落 合 2 - 4 1 - 2 2	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 熊 本 営 業 所	〒861-8045	熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 2 - 1 4 - 4 7	TEL (096) 237-6557	FAX (096) 388-6227
● 鹿 児 島 営 業 所	〒890-0082	鹿 児 島 県 鹿 児 島 市 紫 原 1 - 5 1 - 2 5	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● 陶エレホン・技研本社	〒781-0270	高 知 県 高 知 市 長 浜 5 2 2 6 - 1 3	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● 陶エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛 媛 県 松 山 市 南 吉 田 町 1 4 5 0 - 6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230